

一般質問

一般質問は、議案に関係なく、市政全般にわたって市長や教育委員長などに質問することで、議案に対し不明な点を明らかにする質疑とは区別され、見解なども問うことができます。

通学路の路面標示の実施を要望

浅見美子(公明党)

交通安全対策のため、信号機のない交差点へ減速マークの路面標示と共に、通学路へスクールゾーンの路面標示を強く要望する。

牧田助役 小学校に対する通学路で、具体的に時間規制、朝の通学時間に自動車の通行規制をかけてある道路があります。そこへ入るところにスクールゾーンの標示を二〇〇三年度の中で行ってみたいと思っています。市内、一七〇カ所ほどあるそうです。

自動聴性脳幹反応検査(AABR)装置を使用し、新生児の聴覚検査の実施を早急に求める。

高山助役 町田市では、乳幼児の健康診査で、三、四カ月児のときと六カ月児健康診査、九カ月児の健康診査、一歳六カ月児の健康診査、三歳児の健康診査の五回にわたって聴覚検査を実施しています。現在は、健診のときにお母さんたちに子供が聞こえているかどうかのアンケート調査をし、医師が問診、診療を行っているのが実態です。聴性脳幹反応検査ですが、都の検査の動向を見ながら、より早い段階に対応できることを含めて、今の段階では、持っている病院などの紹介をPRしながら連携をとれるようにしていきたい。



小川小学校脇の通学路

市民自治基本条例・設計者選定

石井恵子(社民ネット)

町田市の「市民参加」に対する姿勢を問う。

市長 一層積極的な市民の参画もいただいているところで、これ抜きにしてこれからは考えられないと思います。

「市民参加」に対する職員意識を問う。

市長 市民の参加次第で自治体の裁量で動ける範囲や、ごみ行政などはむしろ積極的に市民の参加がなければなり立たない事業の部署などは、職員が積極的に一層市民の中へ飛び込んでいくこともあると思っています。

町田市では、公共建築の設計に対して、どのような

考え方をもち取り組んでいるのか。

市長 公共施設は将来、市民の心のよりどころとなるような存在でなければならぬと思っています。

公共建築の設計委託は、どのような選定方法で行っているか。

総務部長 随意契約か、指名競争入札かの判断は、少額の案件は事務処理の効率化のため、法令で認められている五〇万円以下は随意契約で取り扱います。基本設計を委託した業者と実施設計の随意契約を行っており、業務の一体性等を保障するためにこのような措置を行っています。

小山・相原へ早期に下水道を

佐藤伸一郎(まだ新世紀)

小山・相原地域では、大雨や台風の際に、家屋への浸水や道路冠水が起きて日常生活に支障をきたしている。この解消に一刻でも早く下水道の整備を求める。

市長 小山地域は、上の部分が大きくニュータウン関連の区画整理事業が行われたわけで、対応ができています。ですし、また、地下に大型の雨水調整池なども設けて下流への配慮をしているはずで

す。しかし、小山の従来の地域の排水が、何カ所か問題点があると私も感じています。特に町田街道が少し高い関係もあり、排水が思うようにい

っていないところもあります。水路が幾つかあります

が、整備などはこれからもやっていかなければならないと考えています。

牧田助役 下水道の整備は、常盤の十字路から町田街道を上流に向かって馬場の十字路までは事業認可はすでに

とってあるわけで、三カ年計画の中で実施していきます。上流は、今定例会で事業認可の追加をいただくために、予算も計上しています。河川の受けられる容量を最大限、町田市域から、今放流をしています放流口と流域との関係は調査して、少しでも放流ができるようにしていきたい。

問題多い大型マンション建設

中山勝子(市民クラブ)

静かな戸建て住宅の中にあるIBM(株)の総合グラウンド跡地に高層マンション建設計画がある。現地は高台にあるが、一六階建ての建築は巨

大な擁壁となる。また、六一〇世帯の同居となると、周辺の交通渋滞、教育施設不足、景観の問題等及ぼす影響が多大である。市長の見解と対策を伺いたい。

市長 もともとグラウンドという想定で地域の都市計画等が決まっているわけで、一六階建てのマンションができることは全く想定外の問題ですから、私も大変不信心と非常に驚きを感じています。町田

市としては、周辺事情を相当改善してもらわなければ協力するわけにはいかないと思っています。

小中学校の空調設備導入について今後の考えは。

教育長 国の予算も定かではなく、議会の理解もいただき小中学校に扇風機を設置しましたので、その様子を見ていきたいと考えています。

保育室の充実に向けて可能な限りの支援策を。

高山助役 都もB型という認証制度もスタートして、既に選択して、やっていること

もあります。すべての点で見直しをせざるを得ない厳しい状況を理解いただきたい。

深刻な市民のくらしへ支援を

殿村健一(日本共産党)

失業や雇用の相談窓口の設置や雇用の確保など、市独自の雇用対策を拡充するべきかどうか。

市長 国の呼びかけに呼応して緊急対策事業を行い、大体三億円近い予算を消化してきています。さらに自治体独自の雇用の拡大も考えなければいけないと思います。

市の融資制度拡充や、団地商店街への空き店舗対策など不況で苦しむ中小企業への支援を行う考えはないか。

市長 今定例会では、条例改正とあわせてバリアフリーを含む融資の制度を行おうとしているところで、可能な限

りの努力をこれからも継続していきたいと思っています。

高齢者無料入浴券の交付要件から「自宅に風呂がない者」を除き、高齢者と銭湯を支援すべきかどうか。

高山助役 各高齢者福祉センターの入浴なども利用していただいて、銭湯を使っているだけで、銭湯という形で、対応しています。

道路整備に伴う交通安全対策を充実すべきかどうか。

市長 各所で道路の整備が継続されており、特に交差点の改良等も積極的に市内でも行っており、一層交通事故の撲滅には力をいれていきたい。

学校の部活動指導にあたる外部指導員に対し、何を求めるか。子どもたちの教育環境を充実させるため、今後外部指導員を増員する予定はないか。

智田伸也(社民ネット)

中学校の部活動指導にあたる外部指導員に対し、何を求めるか。子どもたちの教育環境を充実させるため、今後外部指導員を増員する予定はないか。

教育長 部活動によって自分の生活が豊かになることを実感することで、生涯学習の基礎づくりとしての教育効果を期待します。外部指導員は、生徒一人一人が関心や興味に基づき選択した部活動において、より専門的な指導が受けられる充実感が実感できるところを期待しています。今後の増員ですが、外部指導員の活用について、スポーツ課

学校外部指導員／障がい者支援

や社会教育課と連携しながら対応します。特に剣道やバスケットボールに関しては、地域のボランティアや関係団体の協力も得て、部活動の支援のネットワークを広げたいと考えています。

他市に先駆けて障がい者支援に取り組んでいるが、その中でも特に精神障がいの方に対する支援の充実を求める。

市長 特に昨年から精神障がいの方の分野が保健所から町田市の方に移管をされ、また、来年から本格的に進められるところですので、なお一層今後の増員ですが、外部指導員の活用について、スポーツ課

と連携しながら対応したい。